

瘦々亭滑波道人 そうさつどうじん 戯作者。文久二年伊豫國生れ、大正二年一月十九日歿（八六二一九三）。本名西森武城。別號コツビ、喃々子、喃喋外史、喃子、喋々喃々子、愛柳癡史、抜山居士、春風秋月樓主人、滑波道人。

著書 『初學漢文獨習捷徑』（本名 編、明治十九年二月九春堂）、『初學滑稽獨演説』（和良井鋤太筆記、明治二十年四月共隆社。同・大川

屋の一種）、『拍手滑稽獨演説』（同、明治二十年十一月共隆社。

再版、二十五年五月大川屋）、『奇々滑稽國夢物語』（明治二十年十一月一日金櫻堂）、『萬意滑稽文章一一名書生の戀

み』（滑波道人名、笑園、明治二十年十一月共隆社）、『浮世寫真百人百

色』（明治二十一年一月二十一日共隆社）、『素人稽古演説』（明治二十一年六月七日出版、十四日版權登録、共隆社）、『面白滑稽狂進

怪』（内題『面白奇文狂進怪』自笑粹史共著、明治二十一年六月九日金櫻堂）、『上等妙々亭自笑居士輯録』、『常談滑稽言活士變會』、『常談半分濁し言』（笑園、明

治二十八年八月共隆社）、『常談滑稽言活士變會』、『常談半分濁し言』（笑園、明

治二十一年十一月二十四日共隆社）、『妙々亭自笑居士輯録』、『滑稽十ヶ

月』（題、明治二十一年十一月二十六日金櫻堂）、『頑々居士戯著』、『頑固女権の反對』（滑波道人名、笑園、明治二十一年十一月十七日共隆

社）、『古人何野何兵衛先生原業』、『初學道語物知顔』（補綴、明治二十一年二月十五日共隆社）、『古人何誰先生小言』、『行成放題樂雅記』（滑波道人名、補綴、明治二十二年二月十一日金櫻堂）、『おおどけ新聞』（内題『お

どけ新文』明治二十二年四月十一日金櫻堂）、『滑稽一口演説』（和

良井鋤太筆記、明治二十二年五月十日共隆社）、『珍紛開噴談言』（明治

(二十一年五月)二十五日自由閣、
『浮世詩林選』(一各誤聞)可詩集)』

(明治二十二年八月)二十一日金森堂)、
『女居七變輯筆記』(谷作
笑談)田舎

模様』(骨皮道人各、笑劇笑評、明治二十二年十月一日共隆社)、
同

笑録『樂文書誌』(同、笑劇、明治二十二年十一月十九日共和書店)、

『滑稽教育演説』(明治二十二年四月)自聖文法
田屋)、
『滑稽紙屑問答』

(明治二十二年四月)二百杉本書店)、
『白白誌』(明治二十二年四月

九日金櫻堂)、
『修身
教誨孝行のすゝめ』(明治二十二年六月學友館)、

『滑稽新聞文章』(明治二十二年八月)二十五日大阪・圖書出版會社)、

『滑稽記事論說文』(明治二十二年八月)二十五日大阪・圖書出版會

社)、
『滑稽記事論說戲範』(明治二十二年十一月十九日自聖伊十郎

刊)、
『滑稽
稽心學道の詰』(妙々亭耳野早藏筆記、明治二十四年二月七

日自聖文法、筆枝堂)、
『古今川柳一萬集』(骨皮道人各、編、明治

(二十五年十月八日博又館「東洋文藝全書」)、
『骨皮滑稽談』(同、

明治二十六年二月十日博又館「寸珍百種」)、
『祝日大祭自歌詞遊樂

譜』大祭祝自略解』(本名、編、明治二十六年九月十八日金森堂)、

『自清交戰實記』(坂山居士各、明治二十七年十月七日弘文館)、
『滑

稽時事小言』(再版、明治二十九年二月)二十日大阪・巖巖堂)、
『教

演説』(内題「滑稽教育演説」)臣井徳一名、明治二十九年六月)二十五

日上田屋書店)等。